

イ
e

ーチカラ

No. 1

神様から
さやかちゃんへの贈り物

さやかちゃんは、小学二年生です。二年生になって、あおいちゃんというお友だちができました。

クラスもいっしょ、家も近所で、そろばんとピアノ教室も同じ所に通っています。気が合って、すぐ大の仲よしになりました。二人で宿題をしたり、公園で遊んだり、買い物もいっしょに行ったりしました。

三月にピアノの発表会があり、二人で弾くことになりました。二人は大喜びで、一か月くらい前から毎日のようにどちらかの家に行っては、いっしょけんめい練習しました。

あおいちゃんのお母さんが、発表会で着るおそろいのワンピースをぬつてくれることになり、発表会の日がいっそう楽しみになりました。

「明日、ワンピースができあがるから、お母さんと見に来てね。」

あおいちゃんのお母さんから電話がありました。さやかちゃんはさっそくお母さんに教わりながら、お礼に持っていくクッキーを焼きました。

翌日、がんばって作ったクッキーを持って、お母さんといっしょにあおいちゃんの家に行きました。ところが、さやかちゃんを見るなり、あおいちゃんが「わーっ」と泣き出してしまったのです。



「実はね、さやかちゃん。突然なんだけど、発表会が終わったら、すぐ東京に引越すことになったのよ。さやかちゃんとこんなに仲よしになったのに、ほんとに残念だわ。」

ことばを全部聞き終わらないうちに、さやかちゃんの目からも、涙がこぼれてきました。次から次へ涙はあふれて止まりません。

「ふたりとも気持ちはとつてもわかるけど、いつまでも泣いてないで、ほら、おそろいのワンピースを着て、連弾のおけいこをしましょう。今までで一番じょうずに弾けるようにね。」

二人は涙をふきながら、長い時間、くり返しくり返し練習しました。

○

発表会の前日、さやかちゃんはお母さんといっしょに教会へお参りに行きました。お祈りをしたあと、お結界で先生に、明日ピアノ発表会で連弾することを届けました。先生はさやかちゃんの言葉に何度もうなずいて聞いてくれました。

「さやかちゃんは、毎日いっしょうけんめい練習してきたのですね。えらかったですね。明日は、よい演奏ができるよう、神さまにしっかりお願いさせていただきますでしょう。」

それから、お友だちが遠くへ引越すのは、ほんとうに残念ですね。毎日会えなくなるのは、さびしいことだけど、あおいちゃんとお友だちになれたことを、神さまにお礼申しましょうね。そして向こうへ行っても、あおいちゃんが元気で過ごせるように、毎日神さまにお願いさせていただきますでしょう。」

先生のことばに、さやかちゃんは心がスーッと落ち着くのを感じました。

○

発表会の日、さやかちゃんは、目が覚めると、家のお社の前に行き、神さまに手を合わせました。ホールの楽屋にはおおぜいの子どもたちが待っていました。さやかちゃんたちは、七番目に演奏します。だんだん胸がドキドキしてくるのがわかります。名前が呼ばれ、ふたりでステージに向かって歩いていくうち、不思議に体から硬さが消えていきました。

目と目を見合わせ、ひきはじめました。息はびったりと合って、演奏は最後まで一度もまちがえることはありませんでした。ひき終わって、ステージで頭をさげるふたりに、会場からは大きな拍手がおこりました。

発表会後すぐ、あおいちゃんはお母さんと新幹線に乗って出発することになっていました。

さやかちゃんは駅まで見送りに行きましたが、泣きませんでした。はなればなれになるのは、本当にさびしいけれど、これから毎日、あおいちゃんのことを神さまにお祈りすると決めていたから、悲しい気持ちにはなりませんでした。

「あおいちゃん、元気でね。手紙書くね。もっと大きくなったら、ひとりで新幹線に乗って遊びに行くね。」

「うん、ぜったい来てね、待ってる。私も手紙書くね。」

さやかちゃんは、笑顔で、手を大きくふりました。

○

その日の夕方、ピアノの先生から電話がありました。連弾はまだ無理かと思ったが、さやかちゃんとあおいちゃんならきつとだいじょうぶだと思つたこと、先生が思っていたよりすばらしい演奏だったと、ほめてくれました。

「お母さん、あおいちゃんと連弾ができたのは、おかげだったのかなあ。一生忘れられない思い出ができて、ほんとうによかった。」

「お母さんも、そう思うわ。おかげいただいて、よかったわね。」

そして、さやかちゃんはとても疲れていましたが、その日のうちにお母さんとふたりで教会へお礼のお参りに行きました。

先生はさやかちゃんの参拝をととても喜ばれ、

「さやかちゃん、よくがんばりましたね。りっぱでした。これからも、いろいろなことがあっても、自分だけががんばるのではなく、どんなことでも神さまにお願いしてから、させていただきますしうね。思っている以上に、きつとよいようになると思いますよ。これからもいつそうおかげをいただきますしう。」

「はい、先生、ありがとうございます。」

さやかちゃんは、自分の努力だけでなく、神さまにお願いしてからさせていたかくというのを、教会の先生から教えられ、なんだかお姉さんになったような気分になりました。

四月には、三年生に進級します。

さやかちゃんは、新しいクラスのこと、あおいちゃんのこと、もう心配しません。毎日神さまにお祈りしていいこうと思っています。

子供に話してみよう



「悪者をつくらなかった教祖様」

ある年の十二月ごろ、寒くなってきて霜も下りるような季節のことです。

教祖様は神様から、「はだして畑に行きなさい」と言われました。教祖様は神様の声が聞こえたので、

ね。
その朝、教祖様が裸足で出かけようとすると、奥さんが言いました。「こんなに寒いのに、裸足なんかで行ったら、あそこはわらじも作らないのかと笑われます」と文句を言いました。「わらじ」って分かりますか？わらじで編んで作ったスリッパです。昔は、それぞれ自分の家で作っていたのです。

神様からは「はだして歩け」、奥さんからは「笑われる」と言われ、困った教祖様はどうしたでしょうか？

（ここで子供と対話をしましょう。少し辛抱して、答えを待ちましょう。）

A君 「片足だけはいて行った」

B君 「わらじを半分に切っただけはいて行った」
こんな答えが出てきました。

この子たちの答え、すごいなあと思います。というのは、教祖様が、神様から言われたことと、奥さんの言われたことと、どっちが正しいかと考えるのでなくて、「どちらももつともだ。両方ともうまくいくにはどうしよう」と考えて出した答えだからです。

そして、教祖様はどうしたかという、神様の言うとおりに裸足で出かけて、わらじを鍬の先にくくって、『ちゃんとわらじもありますよ』と言わんばかりに、神様の言われるとおりにしながら、奥さんも困らないようにされました。

教祖様は、このように、こつちが正しくて向こうは悪い、ということはされなかったと思うのです。ここが教祖様の素晴らしいところだと、私は思いますよ。

*子供が出した答えについて受け入れて、そこからまた別の展開へ進むこともあります。まず受け入れて柔軟な姿勢で臨みましょう。



「食う寝る出す」

キャンプへ行ったことはありますか？自然の中で、おいしい空気を吸って、おいしい水を飲み、おいしいご飯を自分たちで作って食べる。天地の恵みがいっぱい感じられるキャンプが私は大好きです。

キャンプを楽しく過ごすには三つの大切なことがあります。

さて何でしょう。

(ここで答えを考えてもらいましょう。)

それは、食えること、寝ること、そしてもう一つ、これが一番大切かも知れません。うんこをすることです。この三つがきちんとできたら、キャンプが楽しく気持ちよくできます。けがもしません。この三つは神様のおはたらきを頂かなくては整いません。神様によくお願いしていきましょう。この三つを簡単に短く言うと、「食う寝る出す」です。

さあ一緒に言ってみましょう。「食う寝る出す！」
(繰り返し)



子供とお話するポイント

- ①難しい言葉は使わないようにする。使うときはちゃんと説明してあげる。
- ②長い話はだめ。短く簡潔に話す。
- ③子供と対話をするようにする。「○○って知ってる？知ってる人！」というように拳手してもらうとよい。
- ④親御さんと一緒の場合は、親御さんにはできるだけ黙ってもらう。先走って答えてしまう親御さんが多いから。
- ⑤子供の意見を聞いたら、それを認めてあげる。大人の論理を押し付けない。子供自身に考えてもらうように心がける。



今さら聞けない金光教のギモン



「なぜ金光教は四拍手なの？」

Q 「近くの神社は二拍手ですが、金光教はなぜ四拍手なのですか？四という数字は縁起が悪いですよね」

A 金光教は、二拍手ではなく四拍手です。拍手を四回叩きます。

人の死について昔からいろいろな考えやしきたりが生まれています。例えば、数字の四を嫌うということもその一つです。四は死に通じるなどと言われていました。

読み方が死を連想させるというだけで、他に理由はありません。生活の中に数字の四がなければ計算も成り立ちませんね。教祖様は「四は死に通じるのではなく、幸せのしに通じるのだ」とおっしゃいました。だから、金光教は四拍手なのです。

「どのように参拝すればいいの？」

Q 「教会に行ったら、すぐにお結界で先生にお話してもいいの？」

A まずお結界にお取次を願う前に参拝します。

① 神前に向かって 礼（おじぎをする）

② 一拝

③ 四拍手

※ 心中祈念（神様へのお礼、家族、友達との事のお願ひなど）

④ 四拍手

霊前にも同じように、一拝、四拍手、心中祈念、四拍手

最後にお結界へ進みます。

お結界には先生が皆様のお礼やお願ひを神様へ願ひ届けてくださいます。何でも話させていただき、色々と教えていただきましょう。

天地のお恵みをいただこう！親子で作ろう！

「いつまでもやわらかいままの白玉だんご」 レシピ



材料 4人分

- ・白玉粉 . . . 100g
- ・とうふ . . . 100g

作り方

- ① 白玉粉ととうふをボールに入れてよく練る。
- ② 耳たぶくらいのやわらかさになったら丸める。
- ③ 沸とうしたお湯の中に入れ、浮いてきたらすくって冷水の中に入れる。冷めたらザルに入れ、水を切る。
- ④ 完成 小豆やフルーツの缶詰でアレンジしても◎

連合会行事のご案内

ここでは、各連合会で行われる青少年対象の行事をお知らせします。

静岡県東部教会連合会

ふれあい集会「バーベキュー大会」

日 時 8月27日(土) 午前11時～午後3時

場 所 三保ハーバルキャンプ場

静岡市清水区三保2738

TEL 054-334-7732

参加費 1500円(小学生以下は無料)

申し込み・お問い合わせ

静岡県東部の各教会まで(8月16日締め切り)



名古屋地方教会連合会

「連合会デイキャンプ」

日 時 9月4日(日) 午前10時～午後3時30分

場 所 犬山市野外活動センター

犬山市大字栗栖字垣ノ内181番地

TEL 0568-65-2990

参加費 500円

申し込み・お問い合わせ

名古屋地方教会連合会の各教会まで



e - チカラ 第1号 平成28年7月29日発行

金光教名古屋センター 発行者 石黒真樹

〒451-0043 名古屋市西区新道1-26-23

TEL 052-433-8181 FAX 052-571-8007